

TZ

TZ-DR500 TZ-DR212

取扱説明書



ご購入いただいたお客様へ

この度は、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、
本製品を正しくご使用ください。
また、お読みになった後は、大切に保管してください。

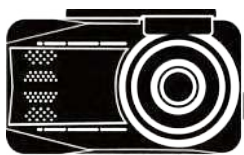
ご使用前に「安全上の注意」・「使用上の注意」を必ずお読みください。

ご使用前に「安全上の注意」「使用上の注意」「取り付け方」を必ずお読みください。

この度は TZ ドライブレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本説明書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。

パッケージの内容

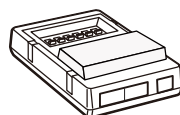
パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。



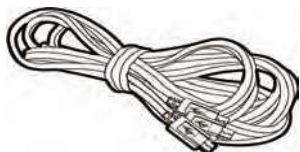
本体 (メインユニット)
(SD カード挿入済み)



ブラケット (両面テープ付)



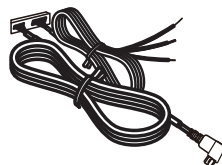
駐車監視ユニット



マルチ接続ケーブル (9m)



サブカメラ用両面テープ ×2
※TZ-DR212 の場合は1枚



電源用配線 (3.5m)



サブカメラ A (リヤ)



駐車監視ユニット
取付用両面テープ



エレクトロタップ ×2



貼り付けスイッチ (2m)

※TZ-DR212 の場合はオプション



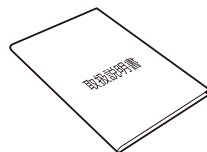
サブカメラ B (車内)



録画中ステッカー



TZ ステッカー



取扱説明書 (保証書)

※写真やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

もくじ

安全上の注意	4 ~ 5
使用上の注意	6 ~ 8
各部の名称	9
ドライブレコーダーの取り付け方	10 ~ 13
取り付け注意事項	10
microSD カードの挿入・取り出し	11
本体（メインユニット）の取り付け方	12
本体の位置調整	12
電源への接続	13
サブカメラ A（リヤカメラ）の取り付け方	14 ~ 16
カメラ貼り付け位置・方向	14
配線の方向	14
ケーブルの接続	15
画角調整	16
サブカメラ B（車内カメラ）の取り付け方	17 ~ 19
カメラ貼り付け位置・方向	17
録画映像の切替	17
画角調整	18
カメラ接続が異なる場合	19
電源のオン / オフ	20
自動電源オン / オフ	20
手動電源オン / オフ	20
アイコン・ボタンの説明	21
初期設定	22
SD カード初期化	22
日付 / 時間の設定	22
録画	23 ~ 25
自動録画	23
解像度の設定	23
緊急録画	24
衝撃検出（G センサー）	24

もくじ

静止画の撮影	25
安全運転支援機能	26 ~ 30
追突防止アラート	27
車線逸脱アラート	28
制限速度アラート	28
長時間運転アラート	29
スピードカメラアラート (オービス警告)	30
駐車モード	31 ~ 33
使用方法	32
貼り付けスイッチの動作	32
駐車監視ユニットの動作	32
設定方法	33
その他機能	34
機能チャート画面	34
SD カードフォーマット案内	34
バージョン確認	34
ファイル再生	35 ~ 37
映像再生	35
再生画面	36
ファイルの削除	37
設定メニュー	38 ~ 40
各種ソフトのダウンロード	41
再生ソフトについて	42 ~ 43
各部名称と機能	42
操作方法	43
ファームウェアの更新について	44 ~ 46
仕様	47 ~ 50
フロント	47
リヤ	48
車内	48
microSD カード	49
パソコン	50
よくある質問	51

安全上の注意

※必ずお守りください

お使いになる人や周囲の人への危害、損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明して行きます。本書をよく読み誤った取扱をしないようにしてください。

- 表示内容を無視して誤った扱い方をしたときに生じる損害の程度を次の表示で区分し、説明して行きます。

危険

『死亡または重傷を負う恐れが大きい』内容です。

警告

『死亡または重傷を負う恐れがある』内容です。

注意

『軽傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明して行きます。



強制 『必ず実行していただく』内容です。



禁止 『してはいけない』内容です。



注意 『気を付けていただきたい』内容です。

危険

- 運転者は走行中に画面を注視及び本機を操作しないでください。
→交通事故の原因となります。
- 電源コード(12V/ 24V車対応)はマイナスアース車専用です。
定められた電圧(DC12V/24V)でご使用ください。
→プラスアース車に使用すると、火災や故障の原因となります。
- 内部に異物が入った・水に浸かった・煙が出ている・異臭がする等の問題がある場合は、すぐに使用を中止し、電源コードを外してください。
→火災や感電、故障の原因となります。
- 心臓ペースメーカー等の医療用機器をご使用のお客様、また持病をお持ちのお客様、妊娠されているお客様等は、医療用機器または体への影響を担当医師にご確認ください。
→医療用機器に電波による影響を与える可能性があります。
- 本製品を電子レンジ、オープン等で加熱したりしないでください。
→破裂、発火や火傷の原因となります。
- 車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしないでください。車両の安全装置(カメラ・レーダー等)などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。
→車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。
- コード類は運転を妨げないように引き回してください。
→ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等の動作を妨げる可能性があり、交通事故や故障の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしないでください。
→エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛び、負傷の原因となります。

警告

- 本機の取り付けはバッテリーのマイナス端子を外した状態で行ってください。
→バッテリーを接続した状態で取り付け作業を行うと、感電や故障の原因となります。
- 本機及びサブカメラ・付属品を分解または修理しないでください。
→感電や故障の原因となります。点検や修理は販売店にご依頼ください。
- 本機を直射日光が当たる場所や暖房器具等の温度が非常に高い所・湿気やほこりの多い所・油煙の多い所に保管しないでください。
→変形・変色等を伴う故障および火災、爆発の原因となります。
- 視界や運転を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けしないでください。
→交通事故やけがの原因となります。
- 結合部分やスピーカーなどの穴やすき間にピンや針などの金属を入れないでください。
また、各端子部に異物が入らないように注意してください。
→火災、感電、故障の原因となります。
- コード類を傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。また、コード類を外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。
→コードが損傷したまま使用すると、故障や感電の原因となります。

注意

- 本機及びサブカメラを取り付ける時は、ガラス面・リヤトレイ表面をきれいに拭いた後に正しく取り付けてください。
→本機及びサブカメラが外れ、交通事故に繋がる可能性があります。
- microSD カード及び付属品等は、子供の手が届かない場所に保管してください。
→誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
- 本機を長時間動作した場合、レンズ部分や本体が発熱する場合があります。
また、長時間使用した直後の microSD カードは発熱しています。手で触れないでください。
→やけどの恐れがあります。
- ブラケットおよびドライブレコーダー本体は、保安基準に従って取り付けてください。
→運転手の視界や操作を妨げ、事故の原因となる場合があります。
- 落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
→本製品の部品が破損し、発煙・発火等の原因となります。
- 本機やサブカメラ・付属品は水や海水、その他の液体がかからないよう使用してください。
また、濡れた手で触れないでください。
→感電等の故障原因となります。
- 本機及びサブカメラの表面をシンナー、アルコール、ベンゼン等の揮発性物質・有機溶剤で拭かないでください。
→表面の変質や塗料がはがれることがあり、故障や火災の原因となります。
- 本機を磁気性のある物の近くに置かないでください。
→本体の故障原因になります。
- 本機の近くに障害となるような物を設置しないでください。
→GPSの受信感度や、録画映像の妨げになります。

使用上の注意

※必ずお守りください

- 本製品で録画した画像は、事故等の証拠効果を保証するものではありません。
- 自動録画は記録を繰り返していますが、全ての場合で録画を保証するものではありません。また、事故等の録画を保証するものではありません。(保存できない場合があります)
- 本製品を業務用(バス・トラック・タクシー・商用車等)で使用した場合は保証対象外となります。
- 本製品や付属品の故障及び点検等に伴う脱着費用、レンタカー代、電話代、商業損失等につきましては保証期間内であっても弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品の故障や使用環境によって生じた損害、microSD カードのデータ破損、それらによる損害について弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品の保証対象は本体・サブカメラのみとなります。
micro SD カードや内蔵バッテリー、その他の付属品は保証対象外となります。
- 本製品の動作確認のために急ブレーキなど危険運転はおやめください。
- エンジン始動後、録画開始まで時間がかかります。録画が開始していることを確認してからご使用ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみ等が生じることがあります。また、実際の遠近感と異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- 本製品のレンズに指で触れないでください。脂がレンズに残り、録画映像や写真が不鮮明になる場合があります。
- 動作中、レンズ部分が熱くなることがありますが異常ではありません。
直接手で触れないように注意してください。
- 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありません。
- 周囲の温度が約 60℃以上または約-10℃以下になると液晶ディスプレイの画像が通常と異なって表示される場合がありますが、これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。温度が安定すると元の状態に戻ります。
- GPS 位置測定の精度は天候や周囲の高層建築、トンネル、地下、森林などの走行環境によって変わる場合があります。
- 本製品を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまでに 20 分以上時間がかかる場合があります。
- フロントガラスが鉄粉入りの熱反射ガラスの場合やメタリックフィルム等を装着している場合は、GPS を測位できない場合があります。
- テレビアンテナや GPS アンテナの近くには取付けないでください。
受信障害になる可能性があります。
- 本製品のオービスポイント案内は取締りの有無を案内するものではありません。
オービスの場所を案内したか否かに関わらず、違反等に関して弊社は一切の責任を負いかねます。

使用上の注意

※必ずお守りください

- 電源の接続は2.5A以上を確実に供給できる場所で行ってください。
供給が不安定な場所での接続や電圧の低下や変動により誤動作の恐れがあります。
- 本体とサブカメラを接続するマルチケーブルには接続方向があります。
本書をよく読み、正しく取り付けを行ってください。
- 車線逸脱アラートや追突防止アラート、制限速度アラート等は撮影した映像から簡易的に識別する機能であり、安全運転をアシストする機能ではありません。
道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作もしくは動作しない場合があります。
これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。
目的以外で使用しないでください。使用方法によってはプライバシーなどの権利を侵害したり、個人情報保護法に抵触する恐れがありますのでご注意ください。
これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品のGセンサー(衝撃検出)は動作を保証するものではありません。
- LED式信号機やLED表示装置はLEDの特性上、高速で点滅しています。
本製品でも点滅して撮影される場合がありますが、異常ではありません。
- 逆光や信号機自体の輝度が低い等の条件により、信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について
弊社は一切の責任を負いかねます。
- 駐車モードでの録画によるバッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- 駐車モードでの録画は周囲が暗い状態では鮮明に録画できない場合があります。
- 本製品のオービスポイント案内時に表示される制限速度は、
(株)日本電機サービスが独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また、気象状況や規制により制限速度は変わりますので、実際の標識や交通規則に従って安全な運転を行ってください。
- 走行速度や進行角度、距離、オービスポイント案内等の表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によっては、表示しない場合や実際とは異なる場合があります。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。

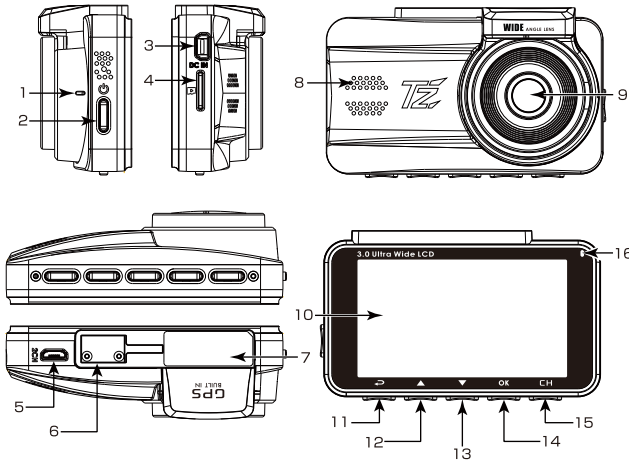
使用上の注意

※必ずお守りください

- microSD カード及び付属品等は、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
- 本製品は microSD カードを挿入してからご使用ください。microSD カードのない状態で使用することはできません。
- microSD カードを取り出す際は、本体の電源を OFF にし、画面が完全に消えてから抜いてください。
microSD カードへのデータ書込み中・読み込み中に microSD カードを抜いてしまうと、データ破損やデータ消失、micro SD カードの故障の原因となります。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。
- microSD カード内に本製品以外のデータを入れしないでください。
- 録画した映像を microSD カードからパソコン等へ保存する場合は、必ず『コピー』にて実施してください。本製品の特性上、microSD カード内のデータを変更（移動、削除、追加、切り取り）すると正しく録画できなくなります。
- microSD カードは特性上、データの書き込み回数に制限（寿命）があります。使用環境や書き込みの回数により寿命が異なりますが、1 年前後を目安に新品と交換することをお勧めします。
- 本製品は設定変更によりフォーマット（初期化）案内を 90 日に 1 度表示することができますが、安定してご使用いただくため定期的（1 か月に 1 回程度）に microSD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。
- フォーマット案内の画面が表示されている間は録画されていません。表示画面の指示に従い、操作の上、録画が開始していること確認してからご使用ください。
- microSD カードを取り出す場合、本機から勢いよく排出されます。注意して取り出してください。
- microSD カードのスロットに異物を入れしないでください。
- 油や水がついた手で microSD カードスロットや microSD カードに触れないでください。
- microSD カードの容量によって、起動時間が変動する可能性があります。同様にフォーマット（初期化）時間が変動する可能性があります。
- microSD カードによっては認識しにくいもの、挿入しにくいもの、取出しにくいものがあります。
- 弊社指定以外の microSD カードを使用しての動作検証・保証はいたしかねます。
- microSD カードの推奨スペックはそれを満たす全ての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- 弊社指定以外の microSD カードを使用した場合の本製品の動作異常に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSD カードには挿入方向があります。正しく挿入してください。
- ドライブレコーダーで使用している microSD カードをスマートフォンや携帯電話等のデバイスに挿入すると不要なデータが書き込まれ、録画データが消える可能性があります。

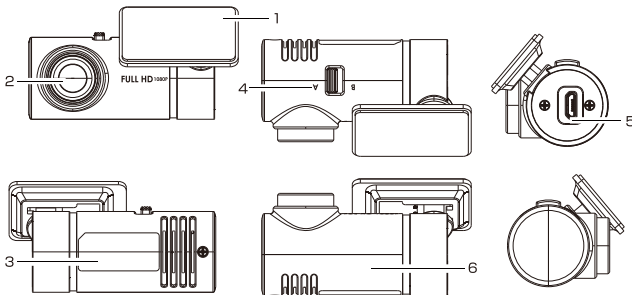
各部の名称

ドライレコーダー本体（フロントカメラ）



番号	名称
1	内蔵マイク
2	「電源」ボタン / 機能チャート
3	USB 電源コネクタ
4	microSD カードスロット
5	マルチ接続ケーブル用ポート
6	ブラケットソケット
7	シリアルシール
8	スピーカー
9	レンズ
10	LCD カラーモニター
11	「戻る」ボタン (←)
12	「上」ボタン (↑)
13	「下」ボタン (↓)
14	「決定」ボタン (OK)
15	「カメラ切替」ボタン (CAM)
16	LED インジケータ

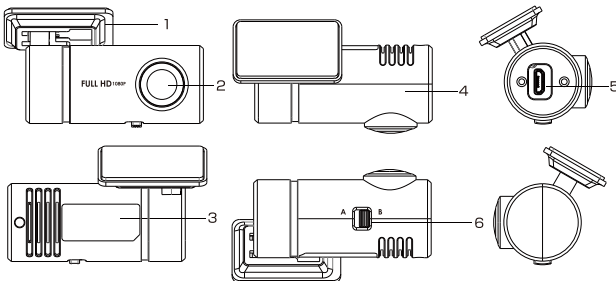
ドライレコーダー本体（サブカメラ A (リヤ)）



番号	名称
1	ブラケット
2	レンズ
3	シリアルシール
4	映像切替スイッチ
5	マルチ接続ケーブル用ポート
6	サブカメラ A 本体

ドライレコーダー本体（サブカメラ B (車内)）

※TZ-DR212 の場合はオプション



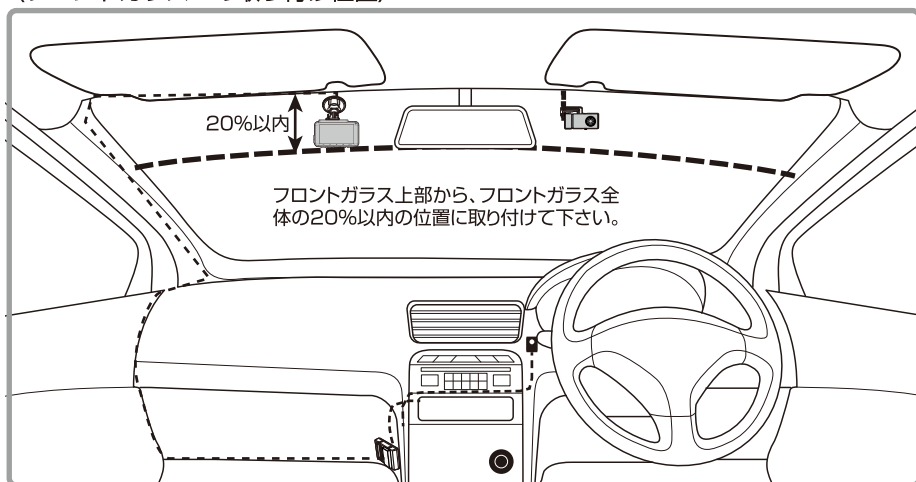
番号	名称
1	ブラケット
2	広角レンズ
3	シリアルシール
4	サブカメラ B 本体
5	マルチ接続ケーブル用ポート
6	映像切替スイッチ

取り付け注意事項

性能を十分発揮するために、下記を守って取り付けてください。

- フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法の保安基準により設置場所が指定されています。運転者の視界の妨げにならないようにフロントガラス上部からフロントガラス全体 20% 以内のルームミラーと干渉しない場所に設置してください。
- 検査標章などと重ならず、検査標章などが映り込まない場所に取り付けてください。
- 鮮明に録画を行うためにワイパーの稼動範囲に設置することを推奨いたします。
- 地デジ・ラジオや ETC 等のアンテナ近くには本体及び配線を設置しないでください。それらの感度が低下する場合があります。
- 本製品の近くに GPS 受信機能を持つ製品等を設置しないでください。
- フロントガラスのセラミックラインなどが映らないように取り付けてください。
- 安全運転支援機能のカメラや防眩ミラーのセンサー等がある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて、取り付けてください。
- 本機の LED インジケーターが確認でき、microSD カードを挿入 / 取り出しできる位置に取り付けてください。
- 車両装備品（エアバッグ、その他装備）の動作を妨げないように、取り付けおよび配線を行ってください。
- 鉄粉入りの熱反射ガラスやメタリックフィルム等を装着している場合は GPS を測位できない場合がありますのでご注意ください。

〈フロントガラスへの取り付け位置〉



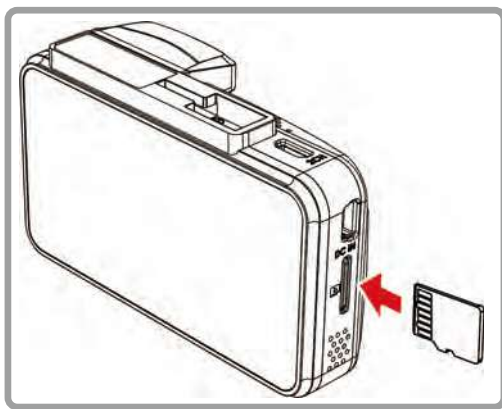
microSD カードの挿入

図のように microSD カードの金属部分を本機の液晶画面側に向けた状態で microSD カードを挿入します。

カチッと言う音がするまで押し込んでください。

※本機は microSD カードが挿入されていないと録画できません。

必ず microSD カードを挿入した上でご使用ください。



microSD カードの取り出し

microSD カードをスロット内に押し込むと、microSD カードをスロットから取り出すことができます。

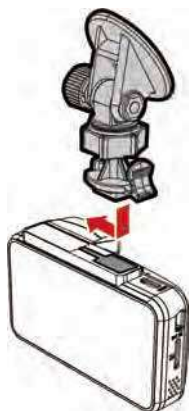
※強く押し込むと microSD カードが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

- microSD カードを本機から取り出す際は、microSD カードが勢いよく排出されますので、なくさないように注意してください。
- 本機には指定の microSD カードを使用してください。
指定以外の microSD カードを使用すると、カードエラーの表示をする場合があります。
- 本機の電源がオンの時に microSD カードの取り出しまたは挿入をしないでください。
故障の原因になります。
- 初めて使用する際、または microSD カードを交換した際は、必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。

本体(メインユニット)の取り付け

1. 付属のブラケットを本機に取り付けます。
カチッという音が聞こえるまでブラケットソケットに差し込みます。



2. ブラケットの接着面を、フロントガラスの取り付け位置に軽く当てます。
3. フロントガラスにブラケットの接着面を押し付けてしっかりと固定します。

本体の位置調整

1. 右図のようにブラケットのノブを緩め、本機を垂直または水平方向に回転させ撮影範囲を調整します。
2. ノブを締め、ドライブレコーダーがしっかりと固定されていることを確認してください。

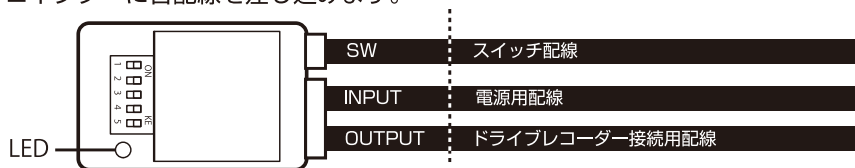


⚠ 注意

- 本機をルームミラー付近のフロントガラス中心に取り付けると最適な視界が得られます。車両装備品の動作や運転の妨げにならない位置に取り付けおよび配線を行ってください。
- 本体(メインユニット)を取り付ける際、ガラス面を脱脂してから取り付けてください。

電源への接続

1. 駐車監視ユニットを両面テープで車両の所定位置に固定し、コネクターに各配線を差し込みます。



2. 車両側に電源用配線を接続します。
配線の接続には、同梱のエレクトロタップをご使用下さい。



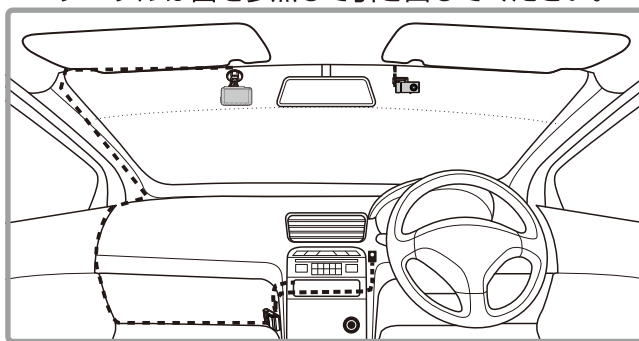
同梱している電源アダプターの黄色線をバッテリー線に接続し、赤色線を「ACCまたはイグニッション ON」で 12V 供給している配線に接続し、黒色線を GND に接続します。

3. スイッチを操作可能な場所に固定します。
4. ドライブレコーダー接続用配線を繋ぎます。
ドライブレコーダー本体の USB 電源コネクターに接続します。
USB ポート出力：DC5V/2.5A



5. 車両のACCをオンにして、駐車監視ユニットのLEDランプが緑色に点灯し、ドライブレコーダーが起動することを確認します。

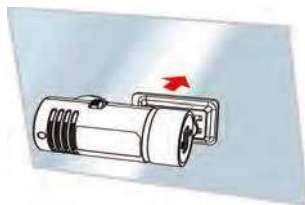
※ケーブルは図を参照して引き回してください。



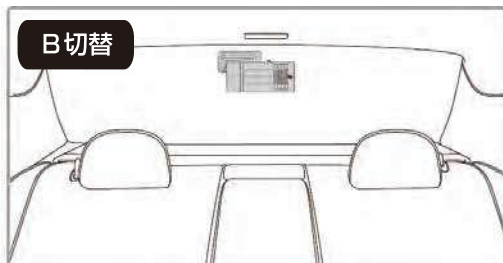
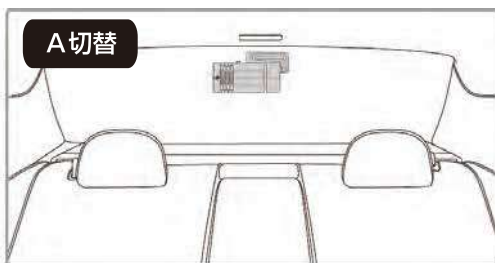
サブカメラ A (リヤカメラ) 取り付け方 1/3

カメラ貼り付け位置・方向

付属の両面テープを使用して右図のようにリヤガラス中央の上部に貼り付けてください。カメラの向きに注意してください。



下図は車内からリヤガラスを見た図です。カメラの向きに応じて、映像切替スイッチより『A』 / 『B』 を切り替えてください。

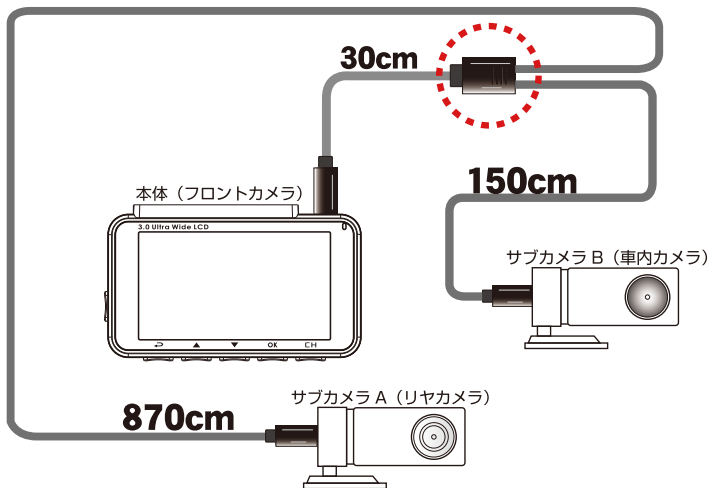


⚠ 注意

- サブカメラ A をリヤガラス中央上部に取り付けると良好な映像を録画することができますが、15 ページの注意を参照して取り付けてください。

配線の方向

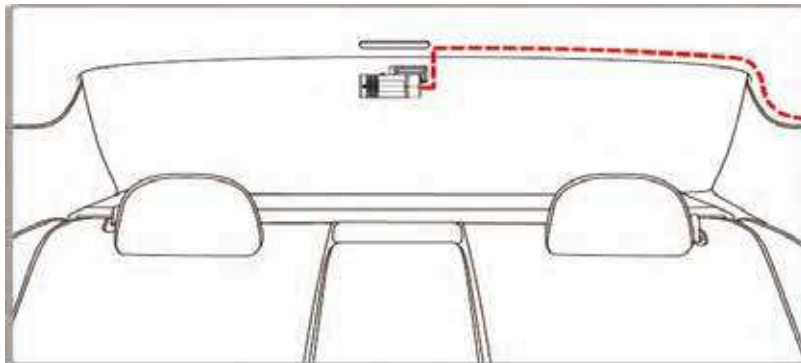
- マルチ接続ケーブルは、必ず分岐していない端子側に本体を接続してください。
- 間違った配線をした場合、「未接続」もしくは「カメラ接続設定」のエラー画面が表示され、正しく録画できません。



サブカメラ A (リヤカメラ) 取り付け方 2/3

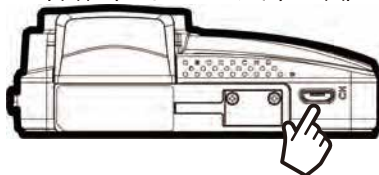
ケーブルの接続

付属のマルチ接続ケーブルをサブカメラ A に接続し、点線のように配線を通してください。



下図メインユニットの図の位置にマルチ接続ケーブルを接続してください。
※マルチ接続ケーブルの接続は本体の電源をオフにして行ってください。

〈本体 (メインユニット) 上面〉



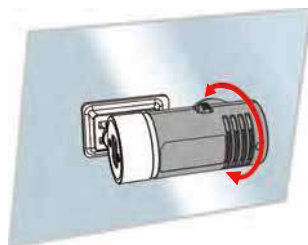
⚠ 注意

- 両面テープは熱線と重ならない位置に貼り付けてください。
- リヤワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。(リヤワイパー装着車)
リヤワイパーの拭き取り範囲外、またはリヤワイパー非装着車に取り付けた場合は雨等により録画した画像が不鮮明になることがあります。
- サンシェード等リヤガラスの 装備品の動作に干渉しない位置に取り付けてください。
- カメラは防水ではありませんので、必ず車内の濡れない位置に取り付けてください。
- リヤガラスにラジオ・地デジ等のアンテナがある場合は、アンテナから50cm以上離れた場所にカメラとケーブルを取り付けてください。(受信感度が下がる場合があります)
- プライバシーガラスやフィルムを貼ってある車両の場合、夜間等の暗い場所では録画した映像が暗くなり、見づらくなる場合があります。
- ハイマウントストップランプ等の光の影響を受けにくい場所に取り付けてください。
- リヤハッチ車に取り付ける場合、配線の噛み込みや車両の浸水等、十分に注意してください。

サブカメラ A (リヤカメラ) 取り付け方 3/3

画角の調整

サブカメラの角度は上下 360° に調整可能ですが、左右の調整はできません。液晶画面を見ながら、矢印の方向に回して、録画角度の調整を行ってください。両面テープで車両に取り付ける前に仮合わせしてください。



メインユニットの電源を入れると、フロント映像が映し出されます。『CH』ボタンを押すと表示画面を切り替えることができます。フロント⇒サブカメラA⇒サブカメラB⇒フロントの順に切り替わります。



⚠ 注意

- 取り付け・画角調整後にカメラのレンズを清掃してください。
- レンズのフィルムをはがして取り付けてください。

※サブカメラ A (リヤカメラ) を外したり、新たにサブカメラ B (車内カメラ) を取り付ける等のカメラ接続数を変更する場合、メインユニットの設定を変更する必要があります。P 19 を参照してください。

サブカメラ B（車内カメラ） 取り付け方 1/3

※TZ-DR212 はオプション

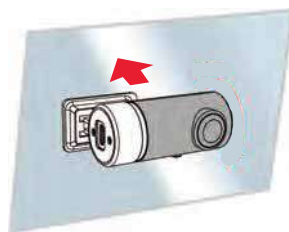
⚠ 注意

保安基準第29条第4項第6号「道路等に設置された通信設備との通信のための機器、道路及び交通状況に係る情報の入手のためのカメラ、運行中の運転者の状況に係る情報の入手のためのカメラ」はフロントガラス上部20%以内の取り付け範囲に設置することができます。

サブカメラ B（車内カメラ）は上記内容（道路及び交通状況に係る情報を入手するカメラ、運行中の運転者の状況に係る情報の入手のためのカメラ）を録画する目的の製品です。そのため、設置範囲以内での取り付けが可能です。

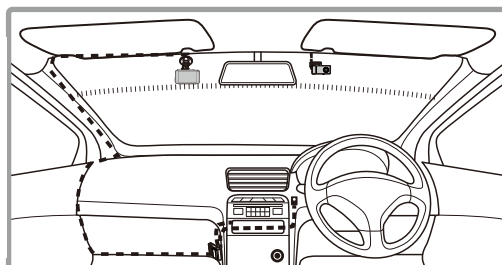
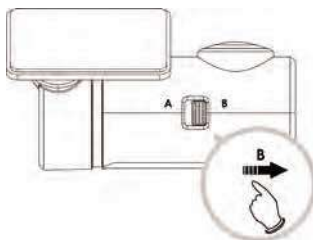
カメラ貼り付け位置・方向

付属の両面テープを使用して右図のようにフロントガラスの上部に貼り付けしてください。カメラの向きに注意してください。

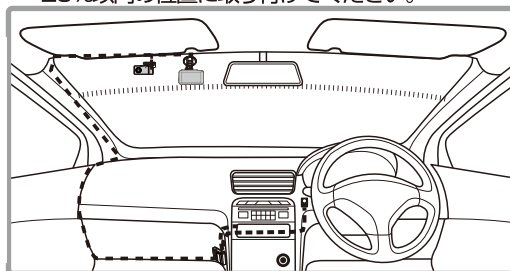
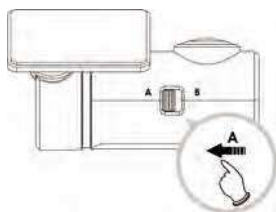


録画映像の切替

取り付けの向きによって映像切替スイッチを操作します。メインユニットで映像を確認しながら、映像切替スイッチより『A』 / 『B』を切り替えてください。



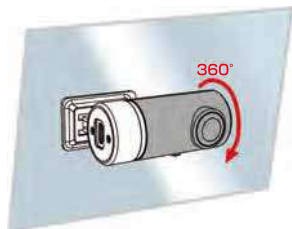
フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内の位置に取り付けてください。



サブカメラ B（車内カメラ）取り付け方 2/3

画角の調整

サブカメラの角度は上下 360° に調整可能ですが、左右の調整はできません。液晶画面を見ながら、矢印の方向に回して、録画角度の調整を行ってください。両面テープで車両に取り付ける前に仮合わせしてください。



メインユニットの電源を入れると、フロント映像が映し出されます。『CH』ボタンを押すと表示画面を切り替えることができます。フロント⇒サブカメラA⇒サブカメラB⇒フロントの順に切り替わります。



⚠ 注意

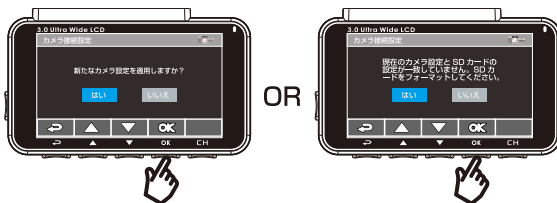
- 取り付け・画角調整後にカメラのレンズを清掃してください。
- レンズのフィルムをはがして取り付けてください。

※サブカメラ A（リヤカメラ）を外したり、新たにサブカメラ B（車内カメラ）を取り付ける等のカメラ接続数を変更する場合、メインユニットの設定を変更する必要があります。P 19 を参照してください。

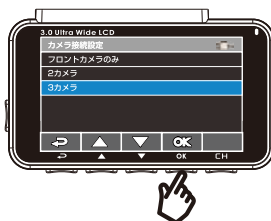
カメラ接続が異なる場合

マルチ接続ケーブルにカメラを 3 台(フロント、サブカメラA、サブカメラ B) 繋げている時に設定が「2 カメラ」になっている場合、メインユニットの画面に設定を変更するよう案内が表示されます。

1. 右図の画面が表示されたら
 ◎☒ ボタンを押してください。



2. 実際の接続しているカメラ数を
 選択し、◎☒ ボタンを押してください。



3. フォーマット案内が表示されます。
 「はい」を選択して、
 ◎☒ ボタンを押してください。



⚠ 注意

フォーマットすることで録画したデータが全て削除されます。
 残したい映像がある場合、パソコン等に保存してからフォーマットしてください。
 削除されたデータは復元できませんのでご注意ください。

4. フロントカメラの「CH」ボタンを押すと、
 画面を切り替えることができます。
 フロント⇒サブカメラA⇒サブカメラB⇒フロント
 の順に切り替わります。



電源のオン/オフ

自動電源オン/オフ

エンジンを始動(ACCがオン)すると、本製品の電源が自動的に入り録画・録音を開始します。またACCがオフになるとデータを保存後に自動的に電源が切れます。

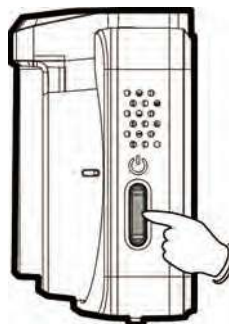
手動電源オン/オフ

電源オン

電源スイッチボタンを押すと電源が入ります。

電源オフ

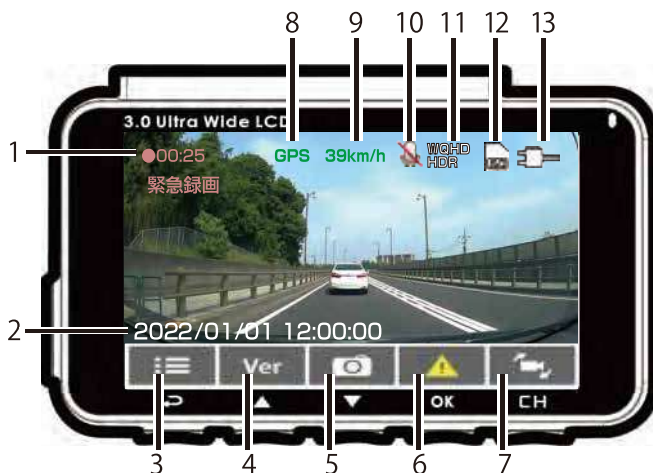
電源スイッチボタンを「長押し (3 秒以上)」すると microSD カードに録画データを保存後、自動的に画面が消えて電源がオフの状態となります。



⚠ 注意

画面点灯中は microSD カードの抜き差しをしないでください。録画ファイルや microSD カードが破損する恐れがあります。

アイコン・ボタンの説明



番号	項目	説明
1	録画時間	録画時間を表示します
2	日付と時間	現在の日時を表示します
3	ガイドアイコン (メニュー)	☰ ボタンを押すと、メインメニューに入ります
4	ガイドアイコン (本体バージョン)	△ ボタンを押して、メニュー画面の「ファームウェアバージョン」に移行します
5	ガイドアイコン (静止画)	▽ ボタンを押して、静止画を撮影します
6	ガイドアイコン (緊急録画)	📹🔴 ボタンを押して手動で緊急録画を開始します
7	ガイドアイコン (カメラ切り替え)	サブカメラ A (リヤ)、サブカメラ B (車内) 接続時、📷🔄 ボタンを押して、映像を切り替えることができます
8	GPSアイコン	GPSの測位中はアイコンが緑色になります (未測位時は赤色)
9	速度	現在の走行速度を表示します (GPS測位中)
10	録音	音声録音の状態を表示します
11	解像度	現在の録画映像の解像度を表示します
12	microSDカード	microSDカード挿入時にアイコンが表示されます
13	電源ステータス	電源コードの状態を表示します

初期設定

SD カード初期化

本製品を初めて使用する時や microSD カードを入れ替えた時には、最初に microSD カード初期化の案内が表示されます。

必ず「OK」ボタンを押して初期化してください。

microSD カードを初期化することで、microSD カード内に仮想的に容量の割り当てをします。本製品から microSD カード抜き、PC で確認した際にはフルストレージになっておりますが、問題ありません。



⚠ 注意

- GPSを受信している状態でフォーマットする必要があります。

本製品を使用する前に正しい日付/時間、各種設定をすることを推奨します。

日付 / 時間の設定

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △ / ▽ ボタンを押して **日時** を選択し、続いて OK ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △ / ▽ ボタンを押して値を調節し、OK ボタンを押して次のフィールドを設定します。
4. ステップ3を繰り返して日付と時間の設定を完了します。
5. 戻るボタンを押してメニューを終了します。



※日付/時間はGPSを受信すると自動的に現在時刻を表示します。

⚠ 注意

日付設定の表示中は録画されません。必ず設定を行うようにしてください。

自動録画

ドライブレコーダーが車両からの ACC 電源に接続されている場合は、車両の ACC がオンになると自動的に本体電源がオンになり、録画を開始します。ACC をオフにすると、録画が自動的に停止し電源がオフになります。

※1 ファイル 1 分で録画します。

⚠ 注意

- 一部の車両ではエンジンが始動しても (ACC がオンになっても) 本体の電源が自動的にオンにならないことがあります。車両のエンジンとあわせて機器が自動的に電源オン/オフにならない場合、車両の電源と機器の電源供給を手動で接続するか、機器を手動でオン/オフしてください。
 - 全ての録画映像及び画像は microSD カードに保存されます。microSD カードが一杯になると、録画はループされ、通常は最も古いビデオファイルから上書きされます。
- ※サブカメラが接続・設定されている時も同様に保存や上書きされます。

【録画状態の確認】



録画中の場合、モニター側の右上LEDが赤色で点滅します。メニュー画面等の待機状態では、緑色に点灯します。

解像度の設定


※工場出荷時：2560×1440P HDRWDR

解像度の設定を変更するには以下の手順に従ってください。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △ / ▽ボタンを押して「解像度+ナイトモード」を選択し、続けて @/☒ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △ / ▽ボタンを押して解像度を設定し、@/☒ボタンを押して設定を完了します。
4. ⏪ボタンを押してメニューを終了します。

緊急録画

緊急録画を開始するには、以下のように操作します。

録画中に  ボタンを押すと緊急録画モードに切り替わり、画面左上に『緊急録画』と表示されます。通常録画とは別のファイルに保存します。



緊急録画の長さは1分です。







緊急録画の録画時間に達すると、通常録画に戻ります。

衝撃検出(Gセンサー)

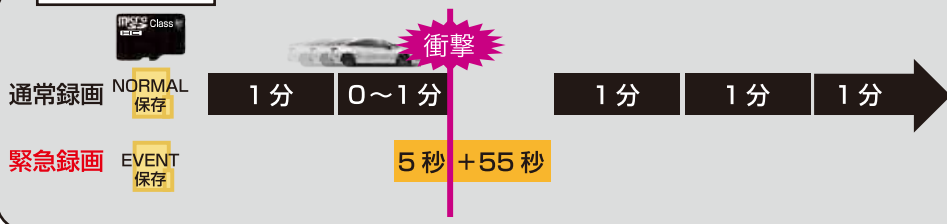
※工場出荷時：標準感度

フロントカメラに内蔵している 3G センサーが衝撃を検出した際、録画映像を『緊急録画』ファイルとして保存する機能です。

感度の設定変更は、以下の手順で行います。

1.  ボタンを押して、設定メニュー入ります。
2.  ボタンを押して **Gセンサー** を選択し、続いて  ボタンを押して機能メニューに入ります。
3.  ボタンを押して、機器の **Gセンサー** 感度（高感度/標準感度/低感度）を変更します。 ボタンを押して設定完了です。
4.  ボタンを押して録画面面に戻ります。

イメージ図



⚠ 注意

- 運転者は走行中に本機を操作しないでください。
- G センサーは全ての衝撃を検知するものではありません。
- 緊急録画は専用のフォルダ（Event）に保存され、通常録画により上書きされないように保護されます。
- 緊急録画フォルダ（Event）は使用している microSD カード容量の約 20%を使用します。
- 緊急録画フォルダ（Event）の容量を超えた場合、古い緊急録画ファイルから順次自動削除されます。
- サブカメラが接続・設定されている際も同様に保存・上書きされます。

静止画の撮影

本機を使用して、静止画を撮影することができます。

1. 録画中に▽ボタンを押して静止画を撮影します。
2. 静止画が撮影されたことを示す📷のアイコンが画面中央に表示されます。



撮影した静止画はメニュー内のファイル再生、もしくはPCにて確認できます。

⚠ 注意

- 運転者は走行中に本機を操作しないでください。
- サブカメラが接続されている際は同時に撮影されます。

安全運転支援機能（追突防止アラート・車線逸脱アラート・制限速度アラート・長時間運転アラート・スピードカメラアラート）はあくまで簡易的な機能です。
必ず実際の道路状況に基づいて走行してください。

注意

- 安全運転支援機能が一度に発することができる警告は2種類までです。音声および警告メッセージが同時に発された場合は、どちらかの警告が対処されるまで他の警告は無視されます。
- 追突防止アラート・車線逸脱アラート・制限速度アラート・スピードカメラアラート等の機能はGPS信号を受信している必要があります。
これらの機能を使用する前にGPS信号の受信が出来ているか確認してください。確認方法はP21の「GPSアイコン」の色で確認できます。
- 車線逸脱アラート、追突防止アラートの検知は、雨天や夜間などの暗い環境では不正確になる場合があります。ドライバーが実際の道路状況に応じて判断するようにしてください。

追突防止アラート

※工場出荷時：オフ

時速 60km 以上で作動します。一般道では作動しない場合があります。前方の車両との距離が近づいた時に警告音と画面表示にてお知らせします。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して **追突防止アラート** を選択し、続いてⓄボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、Ⓞボタンを押して機能を有効にします。
4. ↶ボタンを押して録画画面に戻ります。



警告画面

⚠ 注意


- 追突防止アラートは GPS 測位状態でのみ動作します (トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません)。
- 追突防止アラートは簡易的な機能です。安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。本機能の動作に関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。

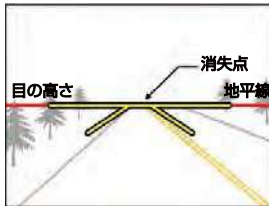
車線逸脱アラート

※工場出荷時：オフ

時速 70km 以上で作動します。一般道では作動しない場合があります。車線を変更する際に警告音と画面表示でお知らせします。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**車線逸脱アラート**を選択し、続いてⓄボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、Ⓞボタンを押して機能を有効にします。
4. ⇐ボタンを押して録画画面に戻ります。
5. 車線逸脱アラートを有効にすると、通常録画画面にて、位置あわせのアイコン  が表示されます。位置あわせのアイコンが下図のようになるようにドライブレコーダーの角度を取り付け時に調整してください。



警告画面

⚠ 注意

- 車線逸脱アラートは GPS 測位状態でのみ動作します (トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません)。
- 車線逸脱アラートは簡易的な機能です。安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。本機能の動作に関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。
- 車線逸脱アラートの正確性を高めるには正しい位置調整が必要です。ボンネット等に遮られないように注意してください。
- 一般道では機能しない場合があります。

制限速度アラート

※工場出荷時：オフ

車両が設定した速度を超えて走行すると、ブザー音と警告画面で速度を落とすように警告します。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**制限速度アラート**を選択し、続いて⊕ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押して [オフ / 任意の設定速度] から警告を開始したい速度を設定し、続けて⊕ボタンを押して設定を完了します。
4. ⇐ボタンを押して録画画面に戻ります。



70km/hの警告画面

⚠ 注意

- 制限速度アラートはGPS測位時のみ動作します。
(トンネル等でGPSが測位できない場合は作動しません)
- 実際の速度と異なる場合がありますが、異常ではありません。
- 法定速度の厳守をお願いします

長時間運転アラート

※工場出荷時：オフ

録画開始1時間後、その後30分毎に警告音と画面表示でお知らせします。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**長時間運転アラート**を選択し、続いて⊕ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、⊕ボタンを押して機能を有効にします。
4. ⇐ボタンを押して録画画面に戻ります。



警告画面

スピードカメラアラート(オービス警告)

※工場出荷時：オフ

全国のオービスポイント(スピードカメラの位置)が登録されており、車両がオービスポイントに近づくと音声および画面で警告を行います。この時、制限速度を超えて走行している場合はアラームが鳴り、警告画面は赤色に変わり、速度を落とすように警告します。

設定は、以下の手順で行います。

1. 設定ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. 上/下ボタンを押して **スピードカメラアラート** を選択し、続いて OK ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. 上/下ボタンを押して **オン** を選択し、OK ボタンを押して機能を有効にします。
4. 戻るボタンを押して録画画面に戻ります。



警告画面

⚠ 注意

1. スピードカメラアラート機能(オービス警告)はGPS測位時のみ動作します(トンネル等でGPSが測位できない場合は作動しません)。
2. 本機能はオービスポイントを保証するものではありません。また、取締りの有無を案内するものではありません。オービスポイントの案内に関わらず、違反に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
3. 本製品のオービス案内時に表示される制限速度は、(株)日本電機サービスが独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また、気象状況や規制により制限速度は変わりますので現地の標識や指示にしたがって安全運転を行ってください。
4. オービス警告時に表示される距離は、GPSの測位状況や登録ポイントの場所、走行速度によって誤差が生じる場合がありますが、異常ではありません。
5. スピードカメラアラートは録画中のみ動作します。スタンバイ状態等では機能しません。
6. 移動式オービス等には対応しておりません。

駐車モード

「駐車モード」では車両のエンジンを切る前に貼り付けスイッチをONにすることで、最大 24 時間の駐車時の録画が可能です。(設定により録画時間の変更可能)
録画方式として「パーキング録画」、「衝撃検知」、「タイムラプス」の 3 モードから選択することができます。

⚠ 注意

- 駐車監視ユニットは、本機種専用です。
- 駐車モードによるバッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- 周囲が暗い場合、鮮明な録画をすることができない場合があります。
- 周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- 衝撃検知において全ての衝撃を検知するものではありません。
- 駐車モードは車両へのイタズラや当て逃げ等の録画を保証するものではありません。

各種録画モードは以下の通りです。

パーキング録画

画面に「10 秒後にパーキング録画モードになります。OK を押すと駐車モードを中止します。」というメッセージが表示され、10 秒後にパーキング録画が開始されます。

このモードでは、通常録画と同様の動作を行います。

録画ファイルは通常録画のファイルとして通常録画のフォルダ (Normal) に保存されます。
フォルダの容量を超えた場合、古い通常録画ファイルから順次自動削除されます。

衝撃検知

画面に「10 秒後に衝撃検知モードになります。OK を押すと駐車モードを中止します。」というメッセージが表示され、10 秒後に衝撃検知が開始されます。

このモードでは、衝撃を検知した場合に録画を開始し、緊急録画のファイルとして保存されます。

タイムラプス

画面に「10 秒後にタイムラプスモードになります。OK を押すと駐車モードを中止します。」というメッセージが表示され、10 秒後にタイムラプスが開始されます。

このモードでは、1 秒ごとに 1 フレームの録画を行います。

※約 30 分間を 1 分の録画ファイルに記録します。

※音声録音はできません。

駐車モード

使用方法

※初期設定：パーキング録画

メインユニットから「パーキング録画」「衝撃検知」「タイムラプス」のいずれかを有効にします。

- ① 目印ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- ② △/▽ボタンを押して『駐車モード』を選択し、OKボタンを押します。
- ③ △/▽ボタンを押して各駐車モードを設定し、OKボタンを押して完了です。

駐車モードを使用します。下記の手順にて操作してください。

1. キーをオフにする前に貼り付けスイッチを押します。

貼り付けスイッチが点灯し、駐車モードが使用可能となります。

※駐車モード中に貼り付けスイッチを押すと、貼り付けスイッチが消灯し、

駐車モードが終了します。（録画が終了します）

※貼り付けスイッチを押すたびに点灯・消灯を繰り返します。



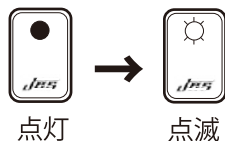
注意

駐車モードを使用する際は、毎回貼り付けスイッチを押してください。

2. キーをオフにすると、ドライブレコーダーの液晶画面に下記案内の画面が表示され、

約10秒後に液晶画面が消灯し、駐車モードが開始します。

駐車モード中は貼り付けスイッチが点滅します。



※案内画面中にOKボタンを押すと駐車モードが終了します。

駐車モード開始案内表示

貼り付けスイッチの動作

駐車モードにならない : 消灯

駐車モード前（スタンバイ） : 点灯

駐車モード中（録画中） : 点滅



駐車監視ユニットの動作

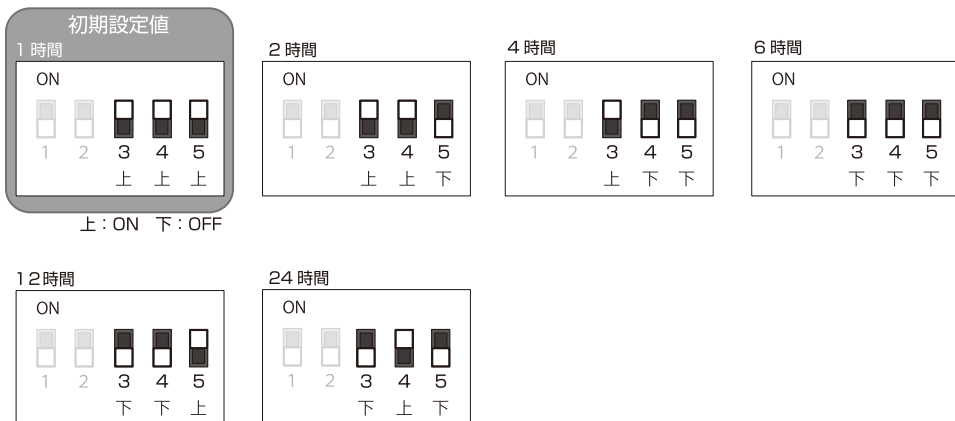
	赤色点灯	待機状態（ドライブレコーダーに電源供給していない状態）
	緑色点灯	動作中（駐車監視ユニットからドライブレコーダーに電源供給中）

駐車モード

設定方法

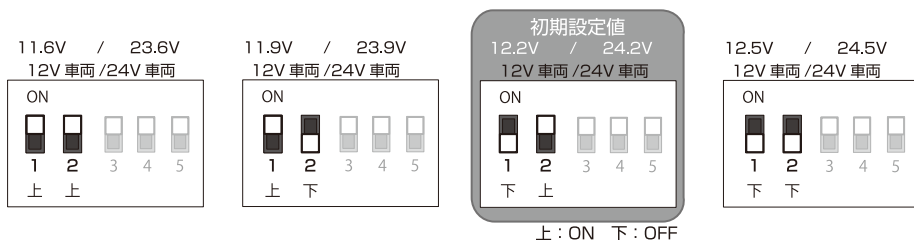
駐車モードの時間設定

本体のディップスイッチを切り替えることで、駐車モードの録画時間を変更できます。



駐車モードの電圧設定

本体のディップスイッチを切り替えることにより、設定電圧を変更できます。



⚠ 注意

- 駐車監視ユニットは、DC12V・24V 車両専用となります。
指定電圧以外の車両での使用はできません。
- 本製品をエアバッグの近くに取り付けたり、配線の取り回しをしないでください。
エアバッグが正常動作しない場合がございます。
また、エアバッグの動作により本製品が壊れる可能性があります。
- 本製品は精密機器ですので、分解や改造などを絶対にしないでください。
発熱、火災などの原因となる事がございます。
- 上記設定以外のスイッチポイントにした場合、電源が入らない可能性があります。
- 本製品は駐車中の録画を保証するものではありません。録画出来ていない場合につきましても、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 駐車モードによるバッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。

その他機能

機能チャート画面

録画中に電源ボタンを押すと、機能チャート表示に切り替えて車両情報を確認することができます。電源ボタンを再度押すと、録画画面に戻ります。

⚠ 注意

GPSを受信していない場合は正常に動作しません。



SDカードフォーマット案内

※工場出荷時：オフ

定期的なフォーマットを案内する機能です。前回フォーマット（初期化）をしてから90日以上経過している microSD カードをご使用の場合、電源を入れた時にアラーム音と画面表示にて案内します。

「はい」を選択した場合はフォーマットを行い、さらに90日後に再度案内をします。「いいえ」を選択した場合はフォーマットせず、電源を入れるたびに表示します。

⚠ 注意

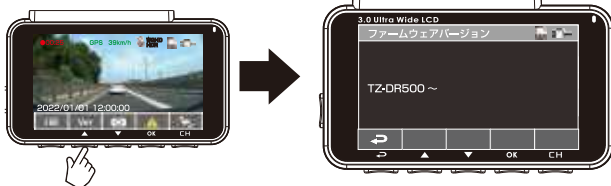
- 新しい microSD カードを使用する場合は、本機でフォーマットしてからご使用ください。
- フォーマット案内が表示された際、「はい」または「いいえ」を選択し、録画画面に戻してください。フォーマット案内の画面が表示中は録画されません。
- フォーマット案内はフォーマットを行うまで毎回表示されます。必ず「はい」または「いいえ」を選択してください。
- 必ず GPS を受信している状態で行ってください。

※「いいえ」は microSD カード内に大事なデータが保存されている際にパソコン等の別デバイスへデータを保存（コピー）するなどの一時的にフォーマットを回避する目的で設けております。



バージョン確認

ファームウェアのバージョンを確認するため、メインユニットの「△」ボタンを押してください。ファームウェアのバージョンアップが必要です。



⚠ 注意

バージョン確認画面では録画されません。必ず録画画面になるよう「<」を押してください。

ファイルの再生

映像再生

録画ファイルは次のように再生します。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**ファイル再生** を選択し、続いてⓈ ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して前方録画/Aカメラ録画/Bカメラ録画/
前方緊急録画/Aカメラ緊急録画/Bカメラ緊急録画/前方静止画/Aカメラ静止画
Bカメラ静止画を選択して機能メニューに入ります。
4. △/▽ボタンを押して録画ファイルを開覧し、ファイル
を選択し、Ⓢボタンを押して再生モードに入ります。
5. 録画面に戻るには ← を繰り返し押します。

前方録画	フロントカメラの通常録画および 駐車モード時のパーキング録画 / タイムラプスの録画が保存されます。
Aカメラ録画 (リヤカメラ)	サブカメラ A の通常録画および 駐車モード時のパーキング録画 / タイムラプスの録画が保存されます。
Bカメラ録画 (車内カメラ)	サブカメラ B の通常録画および 駐車モード時のパーキング録画 / タイムラプスの録画が保存されます。
前方緊急録画	前方カメラの緊急録画映像及び駐車モード時の衝撃検知の ファイルが保存されます。
Aカメラ緊急録画 (リヤカメラ)	サブカメラ A の緊急録画映像及び駐車モード時の衝撃検知の ファイルが保存されます。
Bカメラ緊急録画 (車内カメラ)	サブカメラ B の緊急録画映像及び駐車モード時の衝撃検知の ファイルが保存されます。
前方静止画	前方カメラの静止画のファイルが保存されます。
Aカメラ静止画 (リヤカメラ)	サブカメラ A の静止画のファイルが保存されます。
Bカメラ静止画 (車内カメラ)	サブカメラ B の静止画のファイルが保存されます。

⚠ 注意

Aカメラ・Bカメラのファイルは取り付け（設定）した場合のみ録画されます。
サブカメラを接続・設定していない場合でもフォルダーの表示はされます。

ファイルの再生

再生画面



番号	項目	説明
1	ファイル名	ファイル名
2	再生時間	録画ファイルの再生時間
3	ガイドアイコン (戻る)	◀ ボタンを押してファイル選択の表示に戻ります
4	ガイドアイコン(前)	▲ ボタンを押して前の録画/静止画を表示します。
5	ガイドアイコン(次)	▼ ボタンを押して次の録画/静止画を表示します。
6	ガイドアイコン(再生)	▶ ボタンを押して録画/静止画を再生します。
7	カメラ切り替え	サブカメラ接続時、📷 ボタンを押して映像を切り替えることができます。
8	ファイル番号	現在再生中のファイルと、ファイルの合計数
9	microSDカード	microSDカード挿入時にアイコンが表示されます
10	電源アイコン	電源の状態を表示します
11	日付	撮影した日付と時間

ファイルの再生

ファイルの削除

ファイルを削除するには、次の手順に従ってください。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**ファイル削除**を選択し、続いてⓈ ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して 前方録画/Aカメラ録画/Bカメラ録画/
前方緊急録画/Aカメラ緊急録画/Bカメラ緊急録画/前方静止画/Aカメラ静止画
Bカメラ静止画を選択します。

1ファイル削除

△/▽ボタンを押して**1ファイル削除**を押します。

△/▽ボタンを押してファイル一覧より、削除したいファイルを選択し、続けて Ⓢ ボタンを押します。

△/▽ボタンを押してはい/いいえを選択し、続いて Ⓢ/
⏪ ボタンを押して確定するかあるいは選択をキャンセルします。

すべて削除

△/▽ボタンを押して**すべて削除**を選択します。

△/▽ボタンを押してはい/いいえを選択し、続いて Ⓢ/
⏪ ボタンを押して確定するかあるいは選択をキャンセルします。

4. 録画画面に戻るには ⏪ を繰り返し押します。

⚠ 注意

削除されたファイルは復元できません。削除の前に必要に応じてファイルをバックアップしてください。

設定メニュー

メニューの使用

設定メニューから、各設定をカスタマイズできます。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押してメニュー項目を選択し、続いてⓈボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して、値を選択または調整し、Ⓢボタンを押して設定を確認します。
4. ⏪ボタンを押して録画画面に戻ります。

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
カメラ接続設定	サブカメラの設定を選択します。	フロントカメラのみ 2カメラ 3カメラ	TZ-DR500 は 3 カメラ TZ-DR212 は 2 カメラ
ファイル再生	再生するファイルのフォルダーを選択します。	前方録画 Aカメラ録画 Bカメラ録画 前方緊急録画 Aカメラ緊急録画 Bカメラ緊急録画 前方静止画 Aカメラ静止画 Bカメラ静止画	
衛星信号ステータス	現在の衛星信号受信状態を表示します。		
スピードカメラアラート	本体に登録されているスピードカメラ(オービス)の位置に近づくとお知らせします。	オン/オフ	オフ

設定メニュー

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
制限速度アラート	設定した速度を超えて走行した場合警告音と画面表示でお知らせします。	オフ 50～150km/h	オフ
日時	日付と時刻を設定します。		
日時表示	録画映像への日時表示の設定を行います。	オン/オフ	オン
解像度 + ナイトモード	フロントカメラの解像度とモードの設定をします。 ・撮影条件によってフレームレートが変動します。 ・HDR&NIGHT MODEは撮影条件によって自動で切り替わります。 ・ナイトモード時の暗い場所では自動でフレームレートを調節して録画します。	2560×1440P 2560×1440P HDRWDR 2560×1440P NIGHT MODE 2560×1440P HDR&NIGHT MODE	2560×1440P HDRWDR
明るさ	露出補正を設定します。	+2.0～-2.0 ※フロントカメラのみ	±0
LCD設定	電源を入れてからLCDモニター表示がオフになるまでの時間を設定します。	オン(常にモニター表示) 7秒後にオフ 1分後にオフ	オン
音声録音	音声録音の設定をします。	オン/オフ	オン
操作音	操作音の設定をします。	オン/オフ	オン
音量	音量の設定をします。	0～10	5
駐車モード	駐車中の録画の設定をします。	オフ/パーキング録画/ 衝撃検知/タイムラプス	パーキング録画
Gセンサー (衝撃検出)	Gセンサーの設定を行います。	高感度/標準感度/ 低感度	標準感度

設定メニュー

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
長時間運転アラート	録画開始1時間後およびその後30分ごとに警告音と画面表示でお知らせします。	オン/オフ	オフ
車線逸脱アラート	70km/h以上で走行中に車線を変更する際、警告音と画面表示でお知らせします。	オン/オフ	オフ
追突防止アラート	60km/h以上で走行中に前方車両との距離が一定以下になると、警告音と画面表示でお知らせします。	オン/オフ	オフ
ファイル削除	記録したファイルを削除します。 (削除したファイルは復元できません)	前方録画 Aカメラ録画 Bカメラ録画 前方緊急録画 Aカメラ緊急録画 Bカメラ緊急録画 前方静止画 Aカメラ静止画 Bカメラ静止画	
フリッカレス	LED信号機等のちらつきを軽減します。 東日本では50Hz、西日本では60Hzに設定してください。	50Hz/60Hz	50Hz
SDカード初期化	microSDカードのフォーマットをします。 記録した全ての映像/画像を削除します。 (削除したファイルは復元できません)	はい/いいえ	
SDカード ※ フォーマット案内	フォーマット案内のメッセージ表示の設定をします。	オン/オフ	オフ
設定初期化	本製品の設定を工場出荷の状態に戻します。	はい/いいえ	
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。		

※初期設定はオフとなっておりますが、microSD カードの特性上、定期的なフォーマットは必要です。

各種ソフトのダウンロード

『再生ソフト』『取扱説明書』『最新バージョンのファームウェア』は下記手順にてダウンロードすることができます。

インストール方法

インターネットより『<http://www.j-e-s.co.jp/>』と検索してください。
ファームウェア更新にあたり、下記条件に適したパソコンをお使いください。

使用するパソコンの条件

- ①インターネットが利用できる環境のパソコン
 - ②Windows 7 / 8 / 8.1 / 10
- ※SDカードリーダー/ライターや、SDカードリーダー/ライター内蔵パソコンを使用する場合は、microSD→SDカード変換アダプターが必要です。

⚠ 注意

- ファームウェアの更新の際は違う機種種のプログラムを選択すると正しくバージョンアップができません。また起動できなくなる可能性があります。
- 各ソフトウェアは不定期に更新致します。
- 再生ソフトやファームウェアのダウンロードはスマートフォンから行わないでください。その場合の動作については保証できません。また、microSDカードに不具合が生じる可能性があります。
- 上記条件に合うパソコンでも使用できない場合があります。お使いのパソコンメーカーやパソコンを購入した販売店までお問い合わせください。
- パソコン操作についての問い合わせは対応いたしかねます。

再生ソフト(SuperCar3)について

専用の再生ソフト (SUPER CAR3) をパソコンにインストールし、ご使用ください。
3カメラの映像を同時に再生でき、GPSの情報から走行軌跡を確認することができます。

⚠ 注意

- ※パソコンによっては microSD カードリーダーが必要です。お客様自身でご用意ください。
- ※インターネットに接続しているパソコンのみ対応しています。
- ※映像はビデオコーデック『H.265』形式です。お客様のパソコン環境によって異なるため、お客様自身でご用意していただきますようお願いいたします。
- ※お客様のパソコンのスペックによっては動作が遅れることがあります。
- ※下記パソコンのスペックを参考にし、SUPERCAR をご利用ください。
- ※SUPER CAR が動作しない等のパソコンによる動作確認の検証は行いません。

パソコンのスペック

CPU	Intel Core i5 2.0GHZ 以上
OS	Windows7 以降
RAM容量	8GB RAM 以上
HDD	256GB以上 (30GB以上の空き容量が必要)
GPU	GeForce GTX750TI 以上
モニターサイズ	21インチ以上を推奨 ※表示サイズによって文字が小さくなる場合があります。

※カードリーダーを使用する場合、USB3.0以上を使用してください。

各部名称と機能



番号	項目
1	前方映像
2	再生時間表示バー
3	Gセンサー値
4	Gセンサーグラフ
5	ファイル・フォルダを開く
6	スナップショット
7	巻き戻し
8	再生 / 停止
9	早送り
10	音量

番号	項目
11	速度
12	バージョン情報
13	最小化
14	最大化
15	閉じる
16	Google マップ
17	サブカメラ A (リヤカメラ) 映像
18	サブカメラ B (車内カメラ) 映像
19	再生ファイル情報
20	再生ソフトの拡大縮小

再生ソフト(SuperCar3)について

操作方法

【例】 Normal フォルダ再生

「SUPER CAR3」のアイコン  を選択してください。

起動後、「5. ファイル・フォルダを開く  」を選択してください。

「ファイルを開く」ウィンドウが立ち上がります。「①フォルダ」を選択してください。

1 ファイルだけを再生したいときは「ファイル」を選択、
複数ファイルを再生したいときは「フォルダ」を選択します。



選択したら、②  を選択してください。

「フォルダの参照」ウィンドウが立ち上がりますので

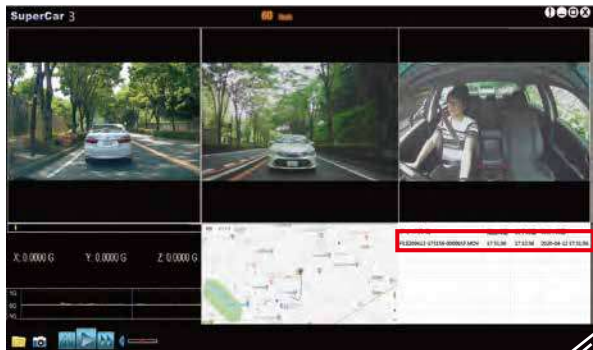
「コンピューター」→「TZ-DR500」→「Normal」→「F」を選択してください。



「ファイルを開く」に戻りますので、「③確認」を選択してください。

「再生ファイル情報」から再生
したい映像を選択してください。

映像が再生されます。



注意

- Google マップ上に走行軌跡を表示するには、動画の再生を始める前にインターネットに接続する必要があります。
- ファイル名やフォルダ名を変更すると正常に再生できなくなりますので、ご注意ください。
- SuperCar3 ソフトウェアは Windows7 以降のパソコンのみに対応です。
- フロントとサブカメラの再生動画に多少のスラグが生じることがありますが、故障ではありません。
- 動画を PC に保存しておきたい場合は、コピーをしてください。切り取りをすると microSD カードエラーが発生します。
- 音声や映像が再生されない場合はホームページに掲載しております「LAVFilters-0.70.2-Installer.exe」をダウンロードしてください。
- 動画再生中に microSD カードを抜かないでください。
- GPS を受信していない映像の場合、走行軌跡は表示されません。
- G センサーの X、Y、Z のグラフは数値を選択すると表示が消えます。再度選択すると表示されます。

ファームウェアの更新について

⚠ 注意

- ファームウェア更新中にmicroSDカードを絶対に抜かないでください。更新ができず、ドライブレコーダーが起動しなくなります。
- ファームウェアを更新した場合、設定が全て初期値に戻ります。
- 本ソフトウェアの一部または全部を利用した新しいソフトウェアの開発は禁止です。
- 弊社は本ソフトウェアに対していかなる保証も行いません。
- 日本国内のみ、購入いただいた製品のみを使用することができます。
- 他の製品や日本以外での使用をした場合、動作保証できません。
- 仕様変更等は予告なく変更・終了・実施する場合があります。

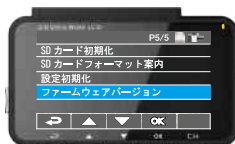
①本体設定の確認

ファームウェアの更新にあたり、ドライブレコーダーの各種設定が初期化されます。お客様の設定をメモ等に記載し、更新完了後に再度設定してください。

※録画データがある場合、必ず録画データをパソコンに保存してから更新作業を行なってください。

②バージョン確認

ファームウェア更新前に必ずバージョンを確認してください。
(作業後、ファームウェアが更新されたか確認するためです)



③micro SDカード取り出し

本体横の電源ボタンを3秒以上長押しして、本体の電源を切ってください。その後、本体からmicroSDカードを取り出してください。



⚠ 注意

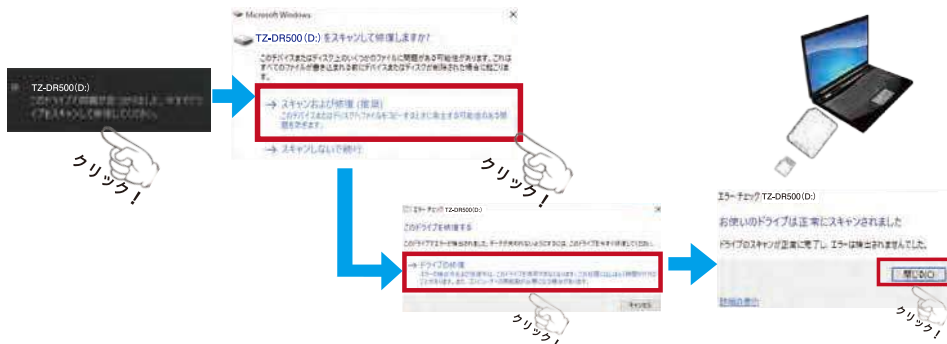
本体からmicroSDカードを取り出す際、勢いよく排出されますので無くさないよう注意してください。

④micro SDカードをパソコンに挿入

③で取り出したmicroSDカードをパソコンに挿入します。パソコンによっては、microSDカードリーダーや変換アダプターが必要です。

※パソコンによっては、microSDカードをエラーチェックするため

下記ダイアログボックスが表示される場合があります。下記操作に従ってください。



ファームウェアの更新について

⑤micro SDカードのフォーマット

micro SD カードをパソコンに挿入後、フォーマットしてください。



⚠ 注意

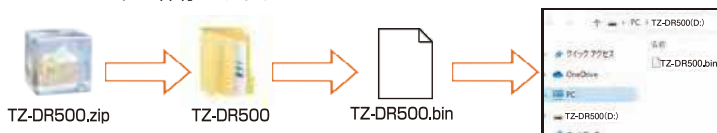
- フォーマットにより、録画映像等の全てのデータが削除されます。必要なデータはご自身のパソコン等の別デバイスにコピーの上、保存してください。

⑥ファームウェアのダウンロード

P42を参考にファームウェアをパソコンにダウンロードし、ご自身の分かりやすい場所に保存してください。(例：デスクトップ)

ダウンロードしたファイルは圧縮されています。
必ず解凍してください。

解凍後、ファイル内にあるファームウェア『TZ-DR500.bin/TZ-DR212.bin』のみをmicro SD カードに保存します。



保存完了後、micro SD カードをパソコンから取り出してください。

⚠ 注意

- データを保存中にmicroSDカードを取り出した場合、データが破損する可能性があります。保存完了後に、microSDカードを取り出してください。
- microSDカードに保存後、パソコンに保存したファイル、データは不要ですので削除してください。

ファームウェアの更新について

⑦ファームウェア更新

ファームウェアを保存した micro SD カードをドライブレコーダーに挿入してください。
※必ず電源が切れた状態で挿入してください。

電源（エンジンを ON）を入れます。

画面にファームウェア更新の進捗を示すバーが表示されます。更新には約 3 分ほど時間がかかります。

更新が完了すると電源が自動で切れます。

※お使いの本体やバージョンによっては再起動する場合があります。



▲ 注意

- 更新中に micro SD カードを抜いたり、エンジンを切ったり、電源線を抜いたり、ボタンを押したりしないでください。電源が入らなくなる可能性があります。
- 更新完了後、1 ~ 2分放置してください。システムを処理している場合があります。また、ファームウェアの更新を自動的に2回行うことがあります。個体差によるものであり不具合ではありません。

⑧ファームウェア更新後

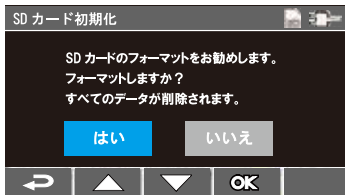
電源を ON にしてください。

起動後、micro SD カードの初期化メッセージが表示されます。

必ず「はい」を押し、microSD カード初期化を行ってください。

表示されない場合、メニューから「SD カード初期化」を行ってください。

初期化を行わない場合、正常に録画されない場合があります。

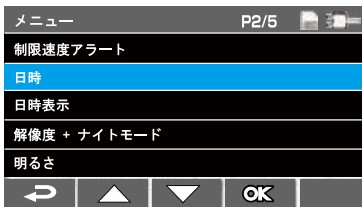


青色は選択中です。

△/▽を押し、どちらを選択しているのか確認してください。

「メニュー」→「日時」にて日付設定を行ってください。

(GPS 受信後に日付が補正されますが、GPS を受信するまで初期値の日付で記録されてしまいます)



メニュー画面より最初に控えた設定にしてください。

メニューの詳細については取扱説明書をお読みください。

仕様 (フロントカメラ)

項目	説明
画像素子	400万画素カラーCMOS
LCD ディスプレイ	3.0インチ IPSモニター
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F値1.9
レンズ画角	水平103° 垂直74° (対角143°)
最大記録画角	水平102° 垂直53.4° (対角122°)
録画解像度	2560×1440P
フレームレート	27.5コマ/秒
録画ファイル構成	1分単位
HDR + WDR	有り
ファイル形式	MOV (動画) / JPEG (静止画) / ADPCM (音声)
記録映像再生方法	本体LCD / 専用再生ソフト
記録方式	常時録画 / 緊急録画 / 手動録画
音声録音	ON / OFF 可能
保存用電源	スーパーキャパシタ内蔵
G センサー	有り (高感度 / 標準感度 / 低感度)
スピーカー	有り
GPS	有り
記録媒体	microSDカード(32GB付属) 16GB ~ 256GB対応 (Class10以上)
動作温度範囲	-10℃ ~ 60℃
消費電力	約10W
電源電圧	DC12V / 24V
外形寸法	87 (幅) × 53 (高さ) × 31 (奥行) mm
本体重量	104g (付属品含まず)
製品保証	3年 (消耗品は除く)

仕様 サブカメラ A (リヤ)

項目	説明
画像素子	200万画素カラーCMOS
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F値2.2
レンズ画角	水平100° 垂直52° (対角122°)
最大記録画角	水平98° 垂直51° (対角114°)
録画解像度	1920×1080P
フレームレート	25コマ/秒
WDR	あり
外形寸法	58(幅) x 36(高さ) x 32(奥行) mm
本体重量	約 22g (付属品含まず)

仕様 サブカメラ B (車内)

※TZ-DR212の場合はオプション

項目	説明
画像素子	200万画素カラーCMOS
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F値2.2
レンズ画角	水平150° 垂直105° (対角188°)
最大記録画角	水平150° 垂直86° (対角166°)
録画解像度	1920×1080P
フレームレート	25コマ/秒
WDR	あり
外形寸法	58(幅) x 36(高さ) x 30(奥行) mm
本体重量	約 22g (付属品含まず)

仕様 microSD カード

microSDカードの使用可能スペック

microSDカードを交換される場合は、以下のスペックを参考にしてください。
下記のスペックを満たしていても、全ての microSD カードが使用できるわけ
ではありません。

microSD カードによっては使用できない場合があります。

項目	説明
容量	16GB~256GB
スピードクラス	CLASS10以上
UHSスピードクラス	U3
ビデオ速度クラス	V30以上
ファイル形式	FAT32

※動作保証するものではありません。また、弊社では動作確認による検証を行いません。

※microSD カードは消耗品です。定期的なご交換をお願い致します。

※microSD カードを購入する場合、ドライブレコーダー用高耐久モデルをご使用ください。

撮影可能時間の目安

※microSD カードにより撮影可能時間は異なるため、下記表はあくまでも目安です。

駐車モードの録画は通常録画に保存されます。衝撃検知は緊急録画に保存されます。

1 ファイル 1 分で構成されています。

ギガ数	2 カメラ録画			3 カメラ録画		
	通常録画 (Normal)	緊急録画 (Event)	写真 (Photo)	通常録画 (Normal)	緊急録画 (Event)	写真 (Photo)
16GB	45 分	10 分	72 枚	32 分	8 分	49 枚
32GB	90 分	20 分	145 枚	65 分	15 分	98 枚
64GB	180 分	40 分	290 枚	130 分	30 分	196 枚
128GB	360 分	80 分	580 枚	260 分	60 分	384 枚
256GB	720 分	160 分	1160 枚	520 分	120 分	768 枚

仕様 推奨パソコンスペック

再生ソフトの推奨スペック

以下のパソコンスペックを参考にしてください。

下記スペックを満たしていても、全てのパソコンで使用できるわけではありません。
パソコンによっては使用できない場合や動作が遅れる・映像や音声がかかる場合があります。

項目	説明
CPU	Intel Core i5 2.0GHZ 以上
OS	Windows7 以降
RAM 容量	8GB RAM 以上
HDD	256GB 以上 (30GB 以上の空き容量が必要)
GPU	GeForce GTX750TI 以上
モニターサイズ	21 インチ以上を推奨 ※表示サイズによって文字や表示画面が小さくなる場合があります。

※カードリーダーを使用する場合、USB3.0 以上を使用してください。

※インターネットに接続しているパソコンのみ対応しています。


※映像はビデオコーデック『H.265』形式です。お客様のパソコン環境によって異なるため、お客様自身でご用意していただきますようお願いします。

※SUPER CAR が動作しない等のパソコンによる動作確認の検証は行いません。

MEMO

よくある質問

よくお問い合わせいただく内容を記載しております。

	質問	答え
1	『SD カードエラー』が表示された	<p>micro SD カードが本体に正しく差し込まれていることをご確認ください。差し込みの問題がない場合、「メニュー」からフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、micro SD カードを交換してください。</p> <p>※micro SD カードは消耗品の為、寿命がございます。</p>
2	『カメラ接続設定』が表示された	<p>マルチ接続ケーブルには接続方向があります。(P14参照) 接続方向に問題がない場合、本体のカメラ設定と接続カメラ数が異なっている可能性があります。カメラ接続設定を行ってください。</p>  <p>改善されない場合、ご購入いただいた販売店様までお問い合わせください。</p>
3	『フォーマット案内』が表示された	<p>新しいmicroSD カードを差し込んだ際、フォーマット案内が表示します。また、ご使用いただいているmicroSD カードでも前回のフォーマットから90日後にフォーマットの案内を表示します。「はい」or「いいえ」を選択し必ず、表示画面から移動してください。</p> 
4	『日付設定』が表示された	<p>長時間使用していない場合や日付を保持する内蔵バッテリーの寿命など、内蔵バッテリー充電不足により、日付がリセットした時に表示されます。表示された場合必ず日付の設定をし、1時間程度走行して内蔵バッテリーを充電してください。</p>
5	SD カードは何分保存できるの？	<p>接続しているカメラ数によって異なります。詳細については P49 をご確認ください。</p>
6	パソコンで再生したい	<p>P42～43(再生ソフト『SUPER CAR3』)を参照してください。</p> <p>※映像はビデオコーデック [H.265] 形式です。お客様のパソコン環境によって異なるため、お客様自身でご用意していただきますようお願いいたします。</p> <p>※お客様のパソコンのスペックによっては動作が遅れることがあります。</p> <p>[OS] Windows7以降 [プロセッサー] Intel Core i5 CPU 以降 [RAM] 8GB 以上</p> <p>※音声や映像が再生されない場合はダウンロードページに掲載されている [LAVFilters-0.70.2-Installer.exe] をダウンロードしてください。</p>
7	走行中、液晶画面を消したい	<p>本体のメニューより、『LCD 設定』を変更してください。</p> <p>常時点灯(初期設定)、7秒後に消灯、1分後に消灯の3パターンから選ぶことができます。</p>
8	パーキング録画が使用できない	<p>○本体の設定を行ってください。設定方法は P31 を参照してください。</p> <p>○使用する場合は貼り付けスイッチを押す必要があります。必ずエンジンを切る前に貼り付けスイッチを押し、貼り付けスイッチのランプが点灯していることを確認してください。</p> <p>○録画状態はドライブレコーダー本体のLEDをご確認ください。 赤点滅：録画中　緑点灯：衝撃検知モードの場合は待機中 赤点灯や不灯の場合は販売店様へご連絡ください。</p> <p>○車の電圧を確認し、設定値を下回った場合、自動で電源が切れる制御しております。お車の電圧を確認してください。</p>

保証規定

1. 保証期間内に、製造上の理由により不具合が生じた場合、修理もしくは代替の製品を用意させていただきます。
2. 本製品は持込修理となっております、修理や点検にともなう脱着等の費用・レンタカー代・輸送費等はお客様の負担となります。
なお、保証書がないもの、本証の所定事項（ご購入日・販売店名等）に記載がない場合、保証対象外となります。
3. 保証期間内であっても次に当てはまる場合は保証対象外（作業費を含む有償での修理）になります。
 - 取り付けの不備による故障、損傷等
 - 本製品の不適合車種へ取り付けされた場合
 - 本製品や付属品を不正に改造された場合の故障や損傷等
 - 天災（地震・落雷・火災・水害）等による故障、損傷
 - 交通事故による故障、損傷
 - 消耗品等の損傷、またはそれによる故障
 - お客様にて本製品や付属品を紛失された場合
 - 取扱説明書の注意点に従って使用しなかった場合
 - 保証書の無提示
 - 他社製品等による外的要因（取り付けによる影響を含む）の故障や損傷
 - ご購入後の輸送、移動、落下等による故障、損傷
 - 盗難による破損、または故障
 - 外的要因による破損や変形がある場合
 - 購入日の確認の取れる書類（レシート又は領収書）の提示がない場合
 - バス・トラック・タクシーなどの商用車両及び商用目的の車両に取り付した場合及びサーキット走行等
4. 保証対象は消耗品を除くもののみとなります。
（microSD カード・ブラケット・両面テープ等の付属品は消耗品であり、保証対象外です）
5. この保証規定は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）